# <u>大学の森林里子候補地</u>

### [信州大学AFCを紹介します]

- ·信州大学は国立の総合大学で長野県内4箇所それぞれに8学部のキャンパスを置く全国の国立大学でも珍しい形態の大学組織です。
- ・農学部は長野県の南部伊那谷の中央自動車道伊那インターがある南箕輪村地籍にあり、40haの広大なキャンパス内に3学科750名の大学生及び院生が学んでおります。
- ·勿論農学部には実践の場として付属の農場、演習林が設けられており、学部キャンパス内に15ha、キャンパス近くに大部分が天然林である西駒ステーション250haと人工林が中心の手良ステーション229ha、高冷地カラマツ林の長野県東部にある南牧村野辺山ステーション10ha合計506haの演習林で実践教育研究が行われております。
- ・これらのステーションを管理運営するため、平成14年アルプス園フィールド科学教育研究センター(AFC)が設立され一般市民向け林業講座などの社会教育事業も行っております



西駒ステーションより中央アルプス

#### 【候補地の位置と交通アクセス】





#### 【候補地の概要】



西駒ステーション

キャンパスから車で30 分中央アルプス将棋頭 山の懐にあるステーション、入り口付近には30 人収容可能な宿泊施設 を備えております。



構内ステーション

多種多様な樹種からなる 里山であり森林環境など の多目的教育研修の利 用が可能であり近くには 数多くの宿泊施設があり ます。



手良沢山ステーション

キャンパスから車で30 分ヒノキ、カラマツ、アカマツの人工林で植林、育林、伐木などの作業体験ができます。収容人員45人の宿泊可能な施設を備えております。

## 【信州大学農学部キャンパス付近のセールスポイント】

・南アルプスと中央アルプスの狭間を縫うように流れる天竜川、その流域の河岸段丘に様々な都市や農 村が存在しています、中央自動車道も上伊那を縦断しており東京、名古屋から2時間半の位置にあり豊かな自然に恵まれた住みよい地域です。

・伊那市及び南箕輪村は街道の交差点として古〈から発達した宿場町で、平坦地が広がっていることから伊那谷の中心都市として栄えてきました、天竜川の東側には高遠コヒガン桜で有名な城下町高遠があり伊那谷を代表する観光地です。

・キャンパスの2km北には南箕輪村が運営する「大芝高原みんなの森」があり100haを越す広大な公園内には様々スポーツ施設や宿泊、温泉施設が整っており自然を満喫できます。

・キャンパスのすぐ横を中央自動車道と平行に広域農道が走っており、その農道沿いには 道の駅や農産物直売所が多数点在しており、楽しいドライブが期待できます。

# 【上伊那の観光スポット等】



高遠の桜と南アルプス仙丈ヶ岳の残雪



中央アルプス千丈敷カールの夏



キャンパス メイン通りのユリノキ並木



信州大芝公園みんなの森